

ConMas Manager

履歷管理

操作說明書

Rev.1.0.0
2013.03.14

目次

履歴管理について

1. 履歴管理概要
2. リビジョンアップ
3. 履歴の内容で最新化
4. リビジョンダウン

帳票定義操作

1. 帳票定義の一覧における変更点
2. 履歴一覧を参照する
3. 履歴の帳票定義を参照する
4. 帳票定義をリビジョンアップする
5. 履歴の内容で帳票定義を最新化する
6. 帳票定義のリビジョンダウンと削除

入力帳票操作

1. 入力帳票の一覧における変更点
2. 履歴一覧を参照する
3. 履歴の入力帳票を参照する
4. 入力帳票をリビジョンアップする
5. 履歴の内容で入力帳票を最新化する
6. 入力帳票のリビジョンダウンと削除

履歴管理について

1. 履歴管理概要

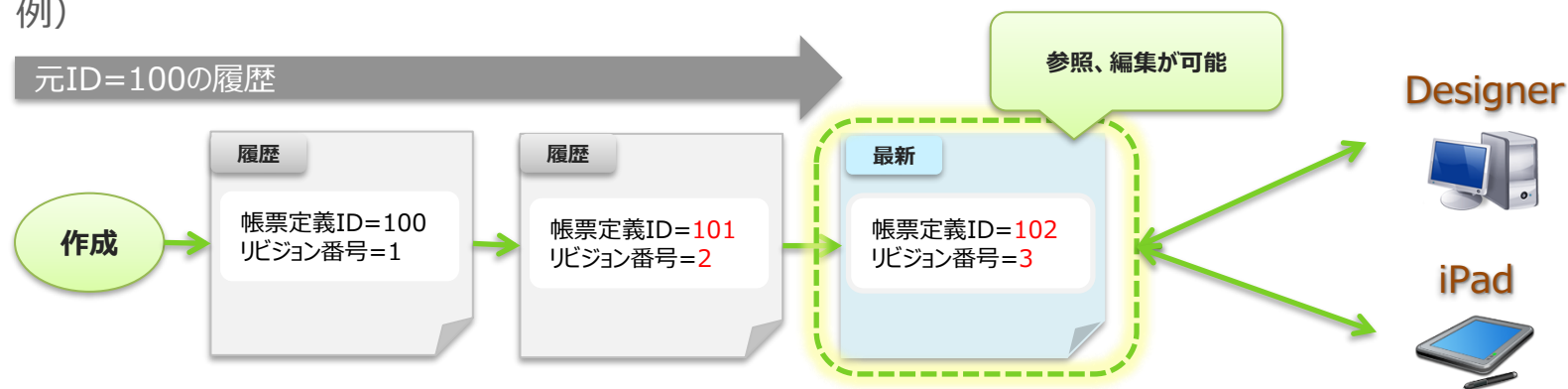
帳票定義、入力帳票は、それぞれある編集タイミングで内容を履歴として残り、編集後の帳票定義、入力帳票を新たに作成します。

- この操作をリビジョンアップと呼びます。
 - 帳票定義におけるリビジョンアップのタイミング
→Designerにて“公開済み”に属している帳票定義を開き、“保存する”、“公開する”、“テストする”をクリック時
 - 入力帳票におけるリビジョンアップのタイミング
→“入力完了”となった入力帳票をManagerにて“編集可能”にした時
- 履歴は、以下の2項目により管理します。

リビジョン管理項目	説明
元ID	初めて作成された時の帳票定義ID 又は 入力帳票ID
リビジョン番号	1～の連番

同じ元IDの帳票定義、入力帳票内でリビジョン番号が最大のものを“最新”と呼びます。“最新”の帳票定義、入力帳票のみ、Designer、iPadにて参照、編集が可能となります。

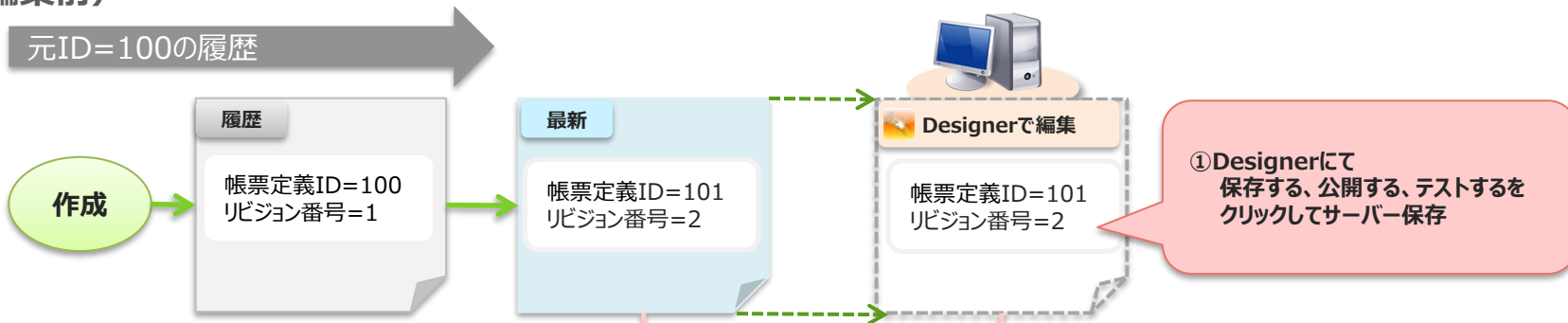
例)



2. リビジョンアップ

リビジョンアップとは、編集時に、帳票定義 又は 入力帳票を上書き更新するのではなく、編集前の状態を履歴として残し、編集後の状態で新規作成する意味となります。コピーとは違い、元ID、リビジョン番号によって1本の枝のように管理されます。以下は帳票定義のリビジョンアップ例です。

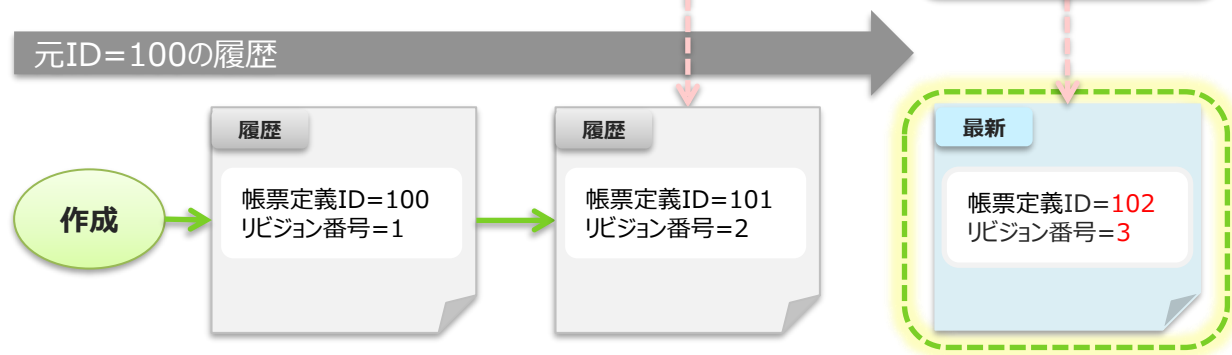
編集前)



②履歴として
保管される

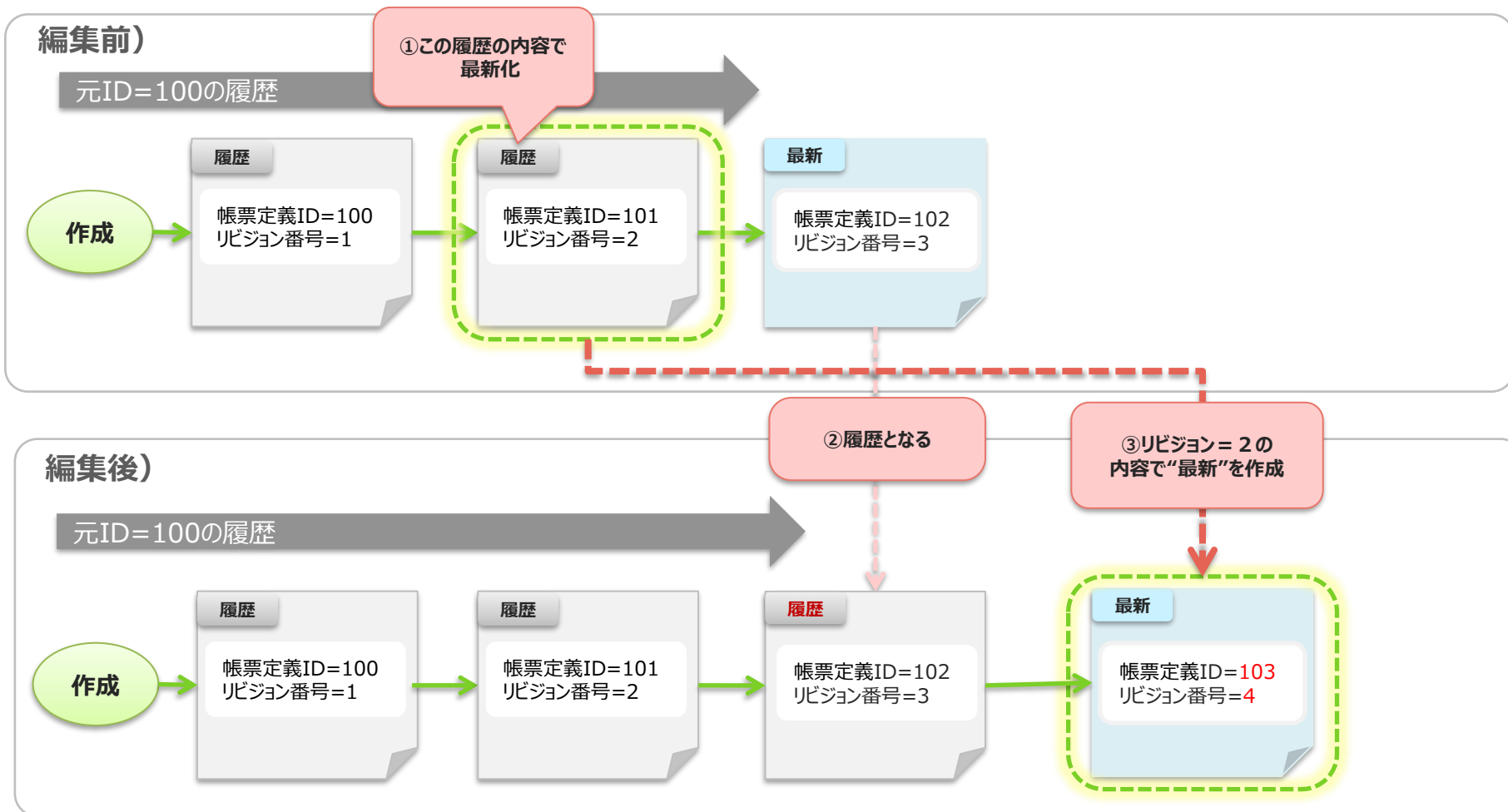
③最新として
新規で作成される。
リビジョンアップ

編集後)



3. 履歴の内容で最新化

履歴の帳票定義、入力帳票の内容で、最新の帳票定義、入力帳票を作成する事が出来ます。
帳票定義、入力帳票それぞれの“履歴の最新化”方法につきましては、後述の操作説明でご説明します。

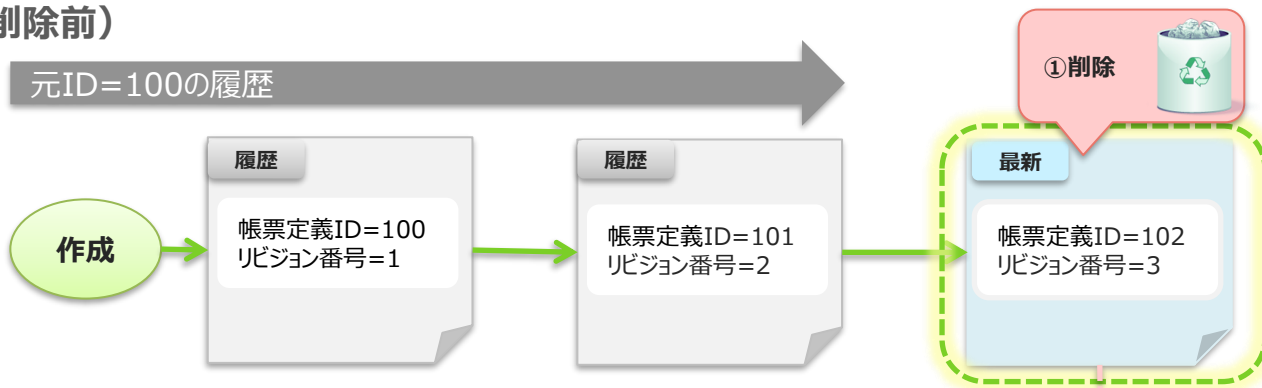


4. リビジョンダウン

帳票定義、入力帳票を削除するとリビジョンダウンが発生し、履歴が存在する場合は、一つ前の履歴が“最新”となります。これをリビジョンダウンと呼びます。またリビジョンダウンではなく、全履歴を一括で削除する事も可能です。削除操作方法については、後述の操作説明でご説明します。

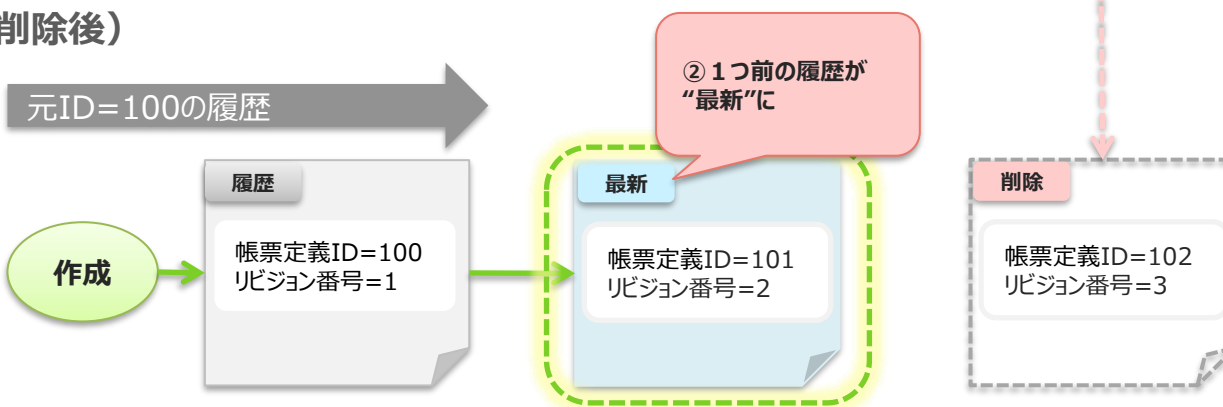
削除前)

元ID=100の履歴



削除後)

元ID=100の履歴



帳票定義操作

1. 帳票定義の一覧における変更点

帳票定義一覧にID、元ID,REV列を表示

- ID,元ID、REV列により履歴の有無が一覧上で確認出来ます。
- 一覧で表示される帳票定義は“最新”のみとなります。
履歴の参照方法は次ページでご説明します。

ConMas Manager

ログイン中: ユーザー01 [ログオフ]
Version: 2.3.2516

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | システム管理

すべて | 公開 | シート セット ブック

表示件数 20 | 1 / 4

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者	更新日時	更新者
580	参考資料1-1] CarbonCopy_201203_V 試験用サンプル	580	1					ユーザー 01
930	レビジョンテスト	922	3					ユーザー 01
931	テスト帳票	485	2	対象外	2013/03/04 13:07	ユーザー 01	2013/03/04 13:07	ユーザー 01
887	コピーテスト	887	1	対象外	2012/12/19 10:30	ユーザー 01	2013/03/04 13:06	ユーザー 01
409	サンプル2 試験用サンプル	409	1	対象外	2012/07/09 14:29	ユーザー 01	2013/03/04 13:05	ユーザー 01
920	テスト定義 2	920	1	対象外	2013/02/06 13:12	ユーザー 01	2013/03/04 13:04	ユーザー 01
918	テスト定義 1	918	1	対象外	2013/02/06 12:43	ユーザー 01	2013/03/04 13:04	ユーザー 01

帳票定義ID

元ID : 元帳票定義ID
REV : レビジョン番号

2. 履歴一覧を参照する

帳票定義詳細の基本情報で履歴一覧が参照出来ます。

- 履歴一覧より定義名称をクリックする事で、履歴の内容を参照出来ます。
※次ページにてご説明します。

The screenshot shows the ConMas M application interface. The top navigation bar includes '帳票定義' (Form Definition), '帳票作成' (Form Creation), 'ラベル管理' (Label Management), and 'システム管理' (System Management). The user is logged in as 'ユーザー01' (User01). The main content area displays the '基本情報' (Basic Information) for a definition named '[test]作業日報' (Job Report). A callout bubble labeled '①基本情報をクリック' (Click Basic Information) points to the '基本情報' menu item in the left sidebar. Below the sidebar, there are sections for '公開' (Public), '作業日報' (Job Report), and '品質検査記録シート' (Quality Inspection Record Sheet). A callout bubble labeled '②履歴一覧' (History List) points to the '履歴' (History) section, which contains a table with the following data:

ID	定義名称	リビジョンNO	公開ステータス	登録日時	登録者	更新日時	更新者
937	[test]作業日報	1	公開	2013/03/05 11:31	ユーザー-01	2013/03/05 11:31	ユーザー-01
938	[test]作業日報	2	公開	2013/03/05 11:31	ユーザー-01	2013/03/05 11:31	ユーザー-01
939	[test]作業日報	3	公開	2013/03/05 11:31	ユーザー-01	2013/03/05 11:31	ユーザー-01

A callout bubble labeled '③定義名称をクリックして履歴の内容参照へ' (Click definition name to refer to history content) points to the definition name '[test]作業日報' in the table.

3. 履歴の帳票定義を参照する

- 履歴の内容を閲覧出来ます。
- 履歴は編集出来ません。

① 定義名称をクリック

定義ID	定義名称	リビジョンNO	公開ステータス	登録日時	登録者	更新日時	更新者
927	リビジョンテスト	1	公開	2013/02/13 15:21	ユーザー-01	2013/02/13 15:21	ユーザー-01
929	リビジョンテスト	2	公開	2013/03/04 12:13	ユーザー-01	2013/03/04 12:13	ユーザー-01
930	リビジョンテスト	3	公開	2013/03/04 12:14	ユーザー-01	2013/03/04 13:45	ユーザー-01

② 履歴である事が表示される

③ 履歴は編集が不可能

ConMas Manager
ログイン中：ユーザー-01 [ログオフ]
Version:2.3.2516

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | ユーザー管理 | システム管理

定義名：リビジョンテスト

基本情報
1:リビジョンテスト

ラベル
定義
帳票
権限
定義 / 帳票
クラスター
1:リビジョンテスト

履歴
公開

4. 帳票定義をリビジョンアップする

Designerにて、“公開済み”に属している帳票定義を開き、“保存する”、“公開する”、“テストする”をクリックしてサーバー保存を行うと、元の帳票定義に上書き保存せず、リビジョンアップして新規で帳票定義を作成します。この時、元の帳票定義は、履歴として残ります。

①公開済みに属している帳票定義を開く

②リビジョン=1の帳票定義を開く

③サーバー保存

④リビジョンアップしてリビジョン=2となる

⑤リビジョン=1の帳票定義は、履歴となり、ここには表示されません。

1. ユーザ要望:	2. 営業原因
5. DT1原因:	6. DT2原因
9. 小機原因:	10. 大機原因
13. その他:	14. 設計NC

状況と発生原因	

非公開 テスト公開 公開済み

DMS用サンプル

試験用サンプル

機能サンプル

自動ラベル

iPadサンプル帳票

[TEST] 7 N_作業日報_品質記録
2013-03-05 16:56:23, Rev.2

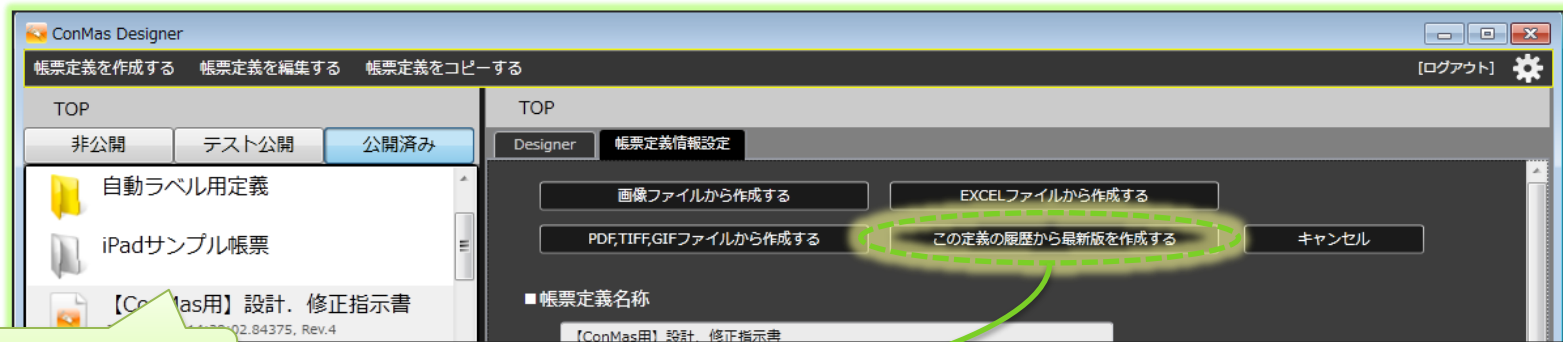
ConMas用] PDFtest
2013-03-05 16:55:38.515625, Rev.1

用] 設計、修正指示書
2013-03-05 14:28:02.84375, Rev.4

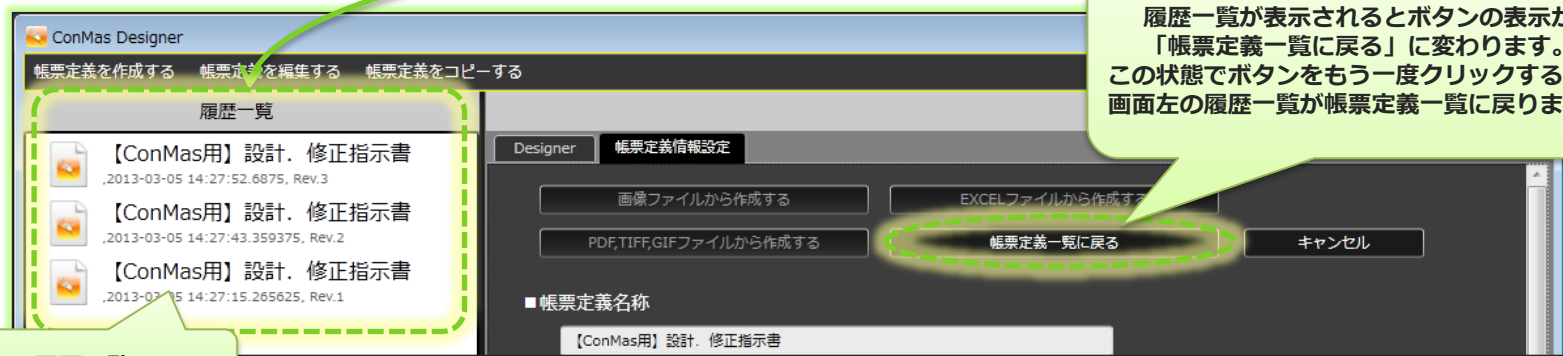
日報
2013-03-05 11:31:55.765625, Rev.3

5. 帳票定義の履歴から最新版を作成する①

Designerを使用して、帳票定義の履歴から最新版を作成することができます。まず、該当の帳票定義をDesignerで開き、編集状態にします。「帳票定義情報設定」タブ画面内の「この定義の履歴から最新版を作成する」というボタンが有効化されますのでこれをクリックすることで、画面左の帳票定義一覧が現在編集集中の帳票定義の履歴一覧に切り替わります。



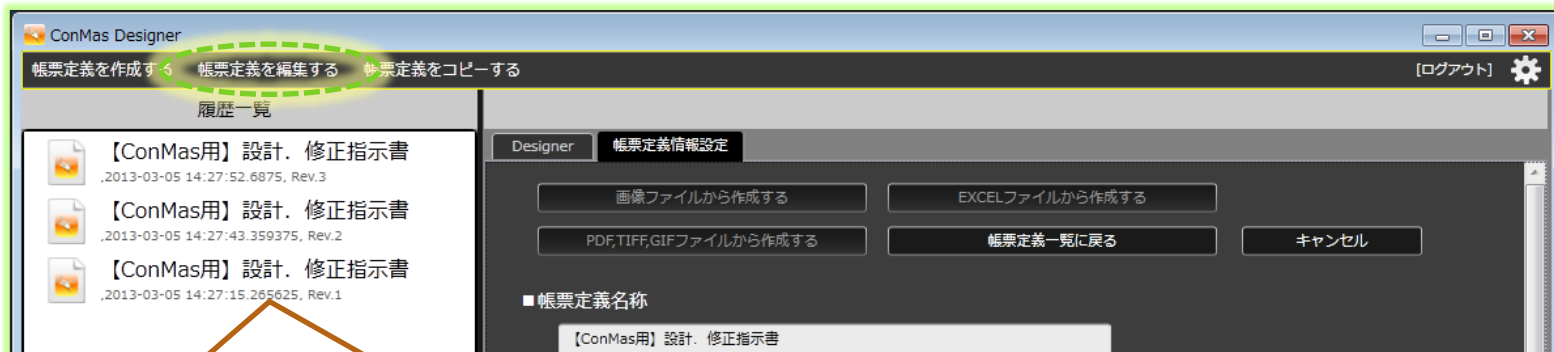
帳票定義一覧



履歴一覧

5. 帳票定義の履歴から最新版を作成する②

履歴一覧から該当するリビジョン番号の帳票定義を選択して編集状態にします。この際、Designerで編集していた内容は破棄され、選択したリビジョン番号の帳票定義に置き換わりますのでご注意ください。



【ConMas用】設計. 修正指示書
,2013-03-05 14:27:52.6875 Rev.3

履歴一覧内の各帳票定義情報の右下に
リビジョン番号が表示されています。

必要に応じて編集を行った後、「保存する」「公開する」「テストする」のいずれかで保存を実行すると、その帳票定義が最新版となります。

6. 帳票定義のリビジョンダウンと削除①

削除には“対象リビジョンのみ削除”、“履歴も含めて削除”の2つのモードがあります。

- 対象リビジョンのみ削除
指定された帳票定義のみ削除します。
履歴が存在した場合はリビジョンダウンが発生し、一つ前のリビジョンの帳票定義が“最新”となります。

①“対象リビジョンのみ削除”をクリック

元ID: 9 2 2
リビジョン番号: 3
を削除

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者
930	リビジョンテスト	922	3	対象外	2013/03/04 12:14	ユーザー01
580	CarbonCopy_201203_V	580	1	対象外	2012/08/08 17:15	ユーザー01

②リビジョンダウンにより、
リビジョン番号 = 2が最新となる

元ID: 9 2 2
リビジョン番号: 2

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者
929	リビジョンテスト	922	2	対象外	2013/03/04 12:13	ユーザー01
920	DEV_DEF	920	1	対象外	2013/03/04 13:19	ユーザー01
577	サニ	577	1	対象外	2012/08/06 20:18	ユーザー01

6. 帳票定義のリビジョンダウンと削除②

- 履歴も含めて削除
リビジョンダウンではなく、不要になった帳票定義を削除したい場合に使用します。
対象となる帳票定義の履歴も含めてすべて削除します。

ConMas Manager ログイン中: ユーザー01 [ログオフ]
Version: 2.3.2516

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 システム管理

すべて 公開

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者	削除
930	リビジョンテスト	922	3	対象外	2013/03/04 12:14	ユーザー01	対象リビジョンのみ削除 履歴も含めて削除
580	CarbonCopy_201203_v	580	1	対象外	2012/08/08 17:15	ユーザー01	2013/03/04 13:07 ユーザー01

①“履歴も含めて削除”をクリック

ConMas Manager ログイン中: ユーザー01 [ログオフ]
Version: 2.3.2516

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 システム管理

すべて シート セット ブック 表示件数 20 1 / 1

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者	更新日時	更新者
930	リビジョンテスト	922	3	対象外	2013/03/04 12:14	ユーザー01	2013/03/04 14:20	ユーザー01
929	リビジョンテスト	922	2	対象外	2013/03/04 12:13	ユーザー01	2013/03/04 14:20	ユーザー01
922	リビジョンテスト	922	1	対象外	2013/02/13 15:21	ユーザー01	2013/03/04 14:20	ユーザー01

②元IDが922である帳票定義が履歴も含めてゴミ箱へ移動

入力帳票操作

1. 入力帳票の一覧における変更点

入力帳票一覧にID、元ID,REV列を表示

- ID,元ID、REV列により履歴の有無が一覧上で確認出来ます。
- 一覧で表時される入力帳票は“最新”のみとなります。
履歴の参照方法は次ページでご説明します。

The screenshot shows the 'ConMas Manager' application interface. The top navigation bar includes '帳票定義', '入力帳票', 'データ出力', '自動帳票作成', 'ラベル管理', and 'システム管理'. The '入力帳票' (Input Tickets) section is active. A table lists various tickets with columns for ID, original ID (元ID), revision (REV), status, registration date, registrant, update date, and updater. Two callouts highlight the '元ID' and 'REV' columns, explaining that '元ID' is the original input ticket ID and 'REV' is the revision number.

ID	帳票名称	元ID	REV	状態	登録日時	登録者	更新日時	更新者
1919	DEV_DEF rev3	1916	4					ユーザー01
1886	チェックシート	1886	1					ユーザー01
1864	TEST用帳票	1864	1	編集	2013/01/11 11:30	ユーザー01	2013/03/04 15:40	ユーザー01
1906	[テスト] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	1906	1	編集	2013/02/05 14:33	ユーザー01	2013/03/04 15:39	ユーザー01
1911	テスト帳票 1	1911	1	編集	2013/02/08 12:47	ユーザー01	2013/03/04 15:39	ユーザー01
1865	201301111132_作業報告書1002	1865	1	承認待ち	2013/01/11 11:32	ユーザー01	2013/02/01 17:01	ユーザー01
1007	帳票サンプル (安全作業票①) 12345	1007	1	編集	2013/01/30	ユーザー01	2013/01/30	ユーザー01

2. 履歴一覧を参照する

入力帳票詳細の基本情報で履歴一覧が参照出来ます。

- 履歴一覧より帳票名称をクリックする事で、履歴の内容を参照出来ます。
※次ページにてご説明します。

The screenshot shows the ConM system interface. At the top, there's a navigation bar with '帳票定義', '帳票作成', 'ラベル管理', and 'システム管理'. The main content area is titled '帳票名: [サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート rev3'. A callout box labeled '①基本情報をクリック' points to the '基本情報' tab in the left sidebar. Below this, a detailed view of the '不具合報告 兼 品質対策シート' is shown, including a table with fields like '作成日', '製造工場', and '製品群'. Another callout box labeled '②履歴一覧' points to the '履歴' section at the bottom of the page. A third callout box labeled '③帳票名称をクリックして履歴の内容参照へ' points to the first row of the history table.

帳票 ID	帳票名称	リビジョン NO	公開ステータス	登録日時	登録者	更新日時	更新者
1866	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	1	公開	2013/01/11 19:42	ユーザー01	2013/03/04 15:58	ユーザー01
1920	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート rev2	2	公開	2013/03/04 15:59	ユーザー01	2013/03/04 15:59	ユーザー01
1921	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート rev3	3	公開	2013/03/04 15:59	ユーザー01	2013/03/04 15:59	ユーザー01

3. 履歴の入力帳票を参照する

- 履歴の内容を閲覧出来ます。
- 履歴は編集出来ません。

① 帳票名称をクリックして
履歴帳票定義詳細へ

帳票ID	帳票名称	リビジョンNO	公開ステータス	登録日時	登録者	更新日時	更新者
1899	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	1	公開	2013/01/11 19:42	ユーザー01	2013/03/04 15:58	ユーザー01
1920	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート rev2	2	公開	2013/03/04 15:59	ユーザー01	2013/03/04 15:59	ユーザー01
1921	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート rev3	3	公開	2013/03/04 15:59	ユーザー01	2013/03/04 15:59	ユーザー01

ConMas Manager

ログイン中: ユーザー01 [ログオフ]
Version: 2.3.2516

帳票定義

入力帳票

データ出力

自動帳票作成

帳票管理

履歴管理

≡ 一覧へ戻る

帳票名: [サンプル] 7N

② “履歴”である事が表示される

基本情報

- 1:[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート
- 2:[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート

ラベル

権限

帳票

クラスター

- 1:[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート
- 2:[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート

履歴

公開

入力完了

CSV

PDF

不具合報告

株式会社 CIMTOPS

作成日	2015/03/04	4:43:21
製造工場	第一工場	区
製品群	社内自動検査	適応機種
部品名	シリンダー	寄先

AA-X04827,AA-V48275

不具合内容

発生日時 2015/03/04 15:53 発見場所 工場

LOT# 340 加工時間 8 時期 30分 不具合品数 数量 9個

<状況> 写真

写真

<発生理由>

不明

③ “履歴”は編集可能にする事で
最新化が可能。
※次ページ

this

4. 入力帳票をリビジョンアップする

- 入力帳票のリビジョンアップは、“入力完了”となった入力帳票を再編集可能にした時に行われます。
- 再編集可能にするには、“編集可能にする”ボタンをクリックします。

ConMas Manager ログイン中：ユーザー01 [ログオフ] Version:2.3.2516

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 システム管理

① “編集可能にする”ボタンをクリック

入力完了となった入力帳票

② リビジョンアップして編集可能に

帳票ID	1922
帳票名称	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート
元帳票ID	1866
リビジョンNO	4

ConMas Manager ログイン中：ユーザー01 [ログオフ] Version:2.3.2516

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 システム管理

② 編集が可能に

編集中に

リビジョン番号が 4 → 5 に

帳票ID	1925
帳票名称	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート
元帳票ID	1866
リビジョンNO	5

5. 履歴の内容で入力帳票を最新化する①

入力帳票の履歴は、“編集可能にする”事でリビジョンアップを行い、履歴の内容で、最新を作成する事が出来ます。

1. 履歴一覧より、最新化したいリビジョンの帳票名称をクリックします。

リビジョン番号 = 2 の履歴内容を最新化します。

▼履歴

帳票ID	帳票名称	リビジョンNO	公開	更新日時	更新者	更新日時	更新者
1866	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	1		2013/03/04 15:59	ユーザー01	2013/03/04 15:59	ユーザー01
1920	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート rev2	2	公開	2013/03/04 15:59	ユーザー01	2013/03/04 15:59	ユーザー01
1921	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート rev3	3	公開	2013/03/04 15:59	ユーザー01	2013/03/04 15:59	ユーザー01
1922	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	4	公開	2013/03/04 16:23	ユーザー01	2013/03/05 12:58	ユーザー01
1925	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	5	公開	2013/03/05 13:00	ユーザー01	2013/03/05 13:00	ユーザー01

帳票名称をクリック

2. “編集可能にする”ボタンをクリックします。（4. 入力帳票をリビジョンアップする操作と同様です。）

ConMas Manager

ログイン中 : ユーザー01 [ログオフ]
Version: 2.3.251

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | システム管理

帳票名 : [サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート rev2

基本情報

- 1:[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート
- 2:[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート

履歴

公開

入力完了

CSV

PDF

不具合報告 兼 品質対策シート

作成日	作成者	作成者
2013/03/04	ユーザー01	ユーザー01

不具合内容

発生日時	発生場所	2次
2013/03/04	発生場所	2次

“編集可能にする”ボタンをクリック

5. 履歴の内容で入力帳票を最新化する②

3. 2. の操作によりリビジョンアップが行われ、履歴の内容で最新の入力帳票が作成されます。尚、直前まで最新であったリビジョン = 5 の入力帳票は履歴となります。

▼履歴							
帳票ID	帳票名称	リビジョンNO	公開ステータス	登録日時	登録者	更新日時	更新者
1866	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	1					
1920	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート rev2	2					
1921	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート rev3	3					
1922	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	4					
1925	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	5		2013/03/05 13:00	ユーザー 01	2013/03/05 13:00	ユーザー 01
1926	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート rev2	6	公開	2013/03/05 13:25	ユーザー 01	2013/03/05 13:25	ユーザー 01

リビジョン番号 = 2 の内容で
リビジョン番号 = 6 の帳票が作成されます。

6. 入力帳票のリビジョンダウンと削除①

削除には“対象リビジョンのみ削除”、“履歴も含めて削除”の2つのモードがあります。

- 対象リビジョンのみ削除
指定された入力帳票のみ削除します。
履歴が存在した場合はリビジョンダウンが発生し、一つ前のリビジョンの入力帳票が“最新”となります。

The screenshot shows the 'ConMas Manager' interface with the '入力帳票' (Input Invoice) tab selected. A table lists several invoices. The first row, with ID 1926 and revision 6, is highlighted. A callout box points to this row with the text: '元ID: 1866 リビジョン番号: 6 を削除' (Delete original ID: 1866, revision number: 6). Another callout box points to the '削除' (Delete) button in the context menu, with the text: '“対象リビジョンのみ削除”をクリック' (Click 'Delete Only Target Revision'). The context menu also shows an option for '履歴も含めて削除' (Delete including history).

ID	帳票名称	元ID	REV	状態	登録日時	登録者
1926	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シートrev2	1866	6	編集	2013/03/05 13:25	ユーザー01
1924	新クラスター権限概要	1863	3	編集	2013/03/04 21:33	ユーザー01
1919	DEV_DEF rev3				2013/03/04	ユーザー

The screenshot shows the 'ConMas Manager' interface after the deletion operation. The table now shows the previous revision (REV 5) as the most recent. A callout box points to the row with ID 1925 and revision 5, with the text: '元ID: 1866 リビジョン番号: 5' (Original ID: 1866, revision number: 5). Another callout box points to the '更新日時' (Update Date) column, with the text: '②リビジョンダウンにより、リビジョン番号 = 5が最新となる' (② Due to revision down, revision number = 5 becomes the latest).

ID	帳票名称	元ID	REV	状態	登録日時	登録者	更新日時	更新者
1925	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	1866	5	編集	2013/03/05 13:00	ユーザー01	2013/03/05 13:00	ユーザー01
1924	新クラスター権限概要				2013/03/04 21:33	ユーザー01	2013/03/04 21:33	ユーザー01
1919	D				2013/03/04	ユーザー01	2013/03/04	ユーザー

6. 入力帳票のリビジョンダウンと削除②

- 履歴も含めて削除
リビジョンダウンではなく、不要になって入力帳票を削除したい場合に使用します。
対象となる入力帳票の履歴も含めてすべて削除します。

ConMas Manager
ログイン中: ユーザー01 [ログオフ]
Version: 2.3.2516

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | システム管理

担当分
承認
差し戻し
申請
すべて
ラベルなし
DMS用サンプル
Design
Automobile

ID	帳票名称	元ID	REV	状態	登録日時	登録者
1926	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シートrev2	1866	6	編集	2013/03/05 13:25	ユーザー01
1924	新クラスター権限概要	1863	3	編集	2013/03/04 21:33	ユーザー01
1919	DEV_DEF rev3	1916	4	編集	2013/03/04	ユーザー

①“履歴も含めて削除”をクリック

DMSサンプル
勉強会
201210
店舗
担当者
Settlement Note for Expende
2012-10-29
検査成績書
2012-10-11

ゴミ箱

ID	帳票名称	元ID	REV	状態	登録日時	登録者	更新日時	更新者
1866	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	1866	1	入力完了	2013/01/11 19:42	ユーザー01	2013/03/05 13:43	ユーザー01
1920	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シートrev2	1866	2	入力完了	2013/03/04 15:59	ユーザー01	2013/03/05 13:43	ユーザー01
1921	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シートrev3	1866	3	編集	2013/03/04 15:59	ユーザー01	2013/03/05 13:43	ユーザー01
1922	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	1866	4	入力完了	2013/03/04 15:59	ユーザー01	2013/03/05 13:43	ユーザー01
1925	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シート	1866	5	編集	2013/03/05 13:00	ユーザー01	2013/03/05 13:43	ユーザー01
1926	[サンプル] 7N 不具合報告 兼 品質対策シートrev2	1866	6	編集	2013/03/05 13:25	ユーザー01	2013/03/05 13:43	ユーザー01

②ゴミ箱表示

③元IDが1866である入力帳票が履歴も含めてゴミ箱へ移動